

粉飾の見分け方と経営者に ヒアリングしたいポイント

ここでは、粉飾の見分け方と経営者へのヒアリングのポイントについて解説します。

ケース①

現金が水増しされている決算書

チェック&ヒアリングポイント

- 一般的な現金の保有額や取引先の事業内容と照らしあわせて、現金の残高が異常となっていないかを確認する
- 勘定科目内訳明細書を入手し、現金の残高を把握する
- 多額の現金を保有している理由についてヒアリングする
- 現金の窃盗や横領などの防犯上の対処策についてヒアリングする



ケース①では、現金の水増しが疑われる決算書について解説します。

現金・預金を用いた粉飾があるということを意外に思われる方も多いのではないのでしょうか。なぜなら、預金残高は各金融機関において直接確認することが可能だからです。

したがって、取引先がもしも現金・預金を水増しする場合は、預金残高ではなく「現金」の残高を調整することが考えられます。こうしたことを行った場合、「現金」の残高が異常な水準になります。

もしも決算書上で現金の水増しが疑われる場合は、決算書に加えて勘定科目内訳明細書も入手し、現金・預金の明細から「現金」の残高に着目してください（図表①）。

一般的な保有水準を超えていないかチェック

次に、一般的に企業が現金を